



No. 199

61

2

おもな内容

- 内容充実した乳幼児学級……………②③
- 20年前から安定増—国調人口—…④
- 16日から確定申告……………⑤
- まちかど……………⑥⑦
- おしらせ……………⑧⑨
- くらしの豆知識……………⑩

発行・岐阜県川辺町 ■ 編集・川辺町役場企画室 ■ 印刷・四橋印刷KK

ガンバレ!  
ガンバレ!

—第二保育園で竹馬大会—

第二保育園でこのほど「竹馬大会」が開かれ、園児たちはじよすにバランスをとりながらゴールまで歩きました。竹馬は冬の遊びで、園児たちが昨年秋から練習を続けてきました。使った竹馬はほとんどがお父さんやおじいさんの手作り

品で、足がかりの高さはまちまちです。大会は約二十メートルの距離を歩けるかどうかを競うもので、途中でくじけないようにすることが肝心、園児たちは「ガンバレ、ガンバレ」と保母さんに励ますながら一生懸命でした。



■ 人口の動き=1月末(カッコ内は前月比) 総人口10,556人(-1) 男5,182人(-1) 女5,374人(±0) 世帯数2,726戸(±0)

## 乳幼児学級——\*

# 自主運営で内容充実

## しかし参加少なく残念!

三歳未満児を持つ親に対する社会教育事業が「乳幼児学級」。同学級は、ここ四～五年の間に学習活動内容が特に充実してきたと言われ、参加した人たちからは「きてよかったです」という声がよく聞かれます。活動が盛り上がってきたのはやはり「会員による自主運営」が定着したことが大きく、レクリエーション、講話など幅広く活動が行われ、以前からの「与えられた学習」というイメージから完全に脱皮したようです。しかし二百人以上いると思われる町内の全対象者のうち参加しているのはその二割程度の三十～四十人。人間形成の上で最も大切な時期の子を持つ親を対象にしているだけにちょっと残念な数です。

乳幼児学級が開設されて十年以上たちました。最初は中川辺の結婚式場（太郎古天神社）でスタートし、五十六年から町中央公民館を主会場に毎月第二火曜日に開かれています。

社会教育事業は学校教育活動を除き、主として青少年・成人に対しても行う教育活動です。乳幼児学級のほかに三十歳以上の婦人を対象とする婦人学級、高齢者を対象にした福寿大学がありますが、これら成人教育のうち最初に受けるのが乳幼児学級で、最も重要な位置を占めます。

そもそもこの学級は、ひと昔前と違つて核家族化が進み、それに伴つて子育てに自信がない、親同士の情報の場も少ないといった社会の現象に対応してつくられた学習制度で、このことを考えればそれなりの成果は上がつてゐると言えます。

しかし、今一番の課題はやはり参加人数が少ないことです。子同士、親同士のふれあいづくり、あるいは講師にも直接悩みが相談できるという点など魅力がいっぱいあるのに、なぜ集まらないのか、町教育委員会社会教育担当では頭を痛めています。



乳幼児学級では親子レクリエーションを多く取り入れ、好評です  
(海洋センターで)

は「病気と応急手当」「しつけ」「食生活」「絵本の選び方」などの講話、親子体操、おもちゃつくり、クリスマス会などさまざまです。何しろ動き盛りの子を持つ人たちばかりなので、実際に会場に出かけても子供の面倒を見ながら参加していると、一時間の講話でも三分の一の二十分程度しか聞くことができないといった状態がほとんどのようです。

それでも、参加した人たちの感想をいくつか拾つてみると①子育ての悩みが解消できた②子育てでのノイローゼが治った③母親同士、子同士で友達ができる——といった意見が多くありました。

## 参加者の声

A black and white photograph of two women. The woman on the left is smiling and has short dark hair. The woman on the right is younger, with dark hair tied back, looking slightly away from the camera. Below the photo is the caption text.



上川辺  
由子さん  
真実子ちゃん

い回されています。  
近所の人からこの学級のことを聞いていたので、子供が生まれてさつそく入りました。最初のうちは子供も大せいの人にはまってちょっと戸惑いがちでしたが、私が役員を引き受け何度か公民館へ通ううちに慣れてしまったのか、今では我がもの顔で動き回るようになり、反対におとなしくさせるのに一苦労です。

去年の夏は自転車に子供を



下飯田  
村上泰子さん  
真由ちゃん

と早すぎるので、と思いま  
したが、毎日大人とばかりの  
遊びではかわいそうだと思つ  
て参加しました。

最初に参加したときは親子  
体操でした。歩くことができ  
ましたので、ちびっ子たちと  
一緒に思いっきり歩き、ころ  
んで大はしゃぎ。理由はこの  
日が初めてなのにみんなの輪  
の中に入つていき、うれしく  
て動きどおしです。そんな様  
子を見て、参加してよかつた



運営委員らが自主発行す

この回は絵本についてのお本屋さんに並んだたくさんからどれを選んでよい悩んでいた時なので、参考なり助かりました。

して、クリスマス会、調習と進んで、気がついた供より親の方が一生懸命たようです。最後に、楽過ごすことができて、運員のみなさん、お母さんりがとうございました。

## 開設のねらい

“親自らも成長する”

前述のとおり、乳幼児学級のます。

子供たちの育つ環境も大きく変わっています。たとえば家族構成でも、大家族から核家族（少子化）に変化してきました。子の数が少なくなることは、ときには過保護、過干渉を招きやすく、その結果として自立心、協調性などの弱い子ができ上がってしまうことになります。社会が原因だと言つてしまえばそれまでですが、ここで親の教育力の低さも指摘されることになります。

「我が子の成長を見定めながら親自らも成長する」——これが乳幼児学級開設のねらいです。「子供を遊ばせるところ」といふた考えがあるとしたら、それはちょっと誤解があるようですね。本町の乳幼児学級は年に十回開いています。毎年四月を第一回とし、次の年の二月まで続けてひとつおり终わります。ただし、毎年同じことを繰り返しているわけではないので、該当する子供がいれば毎年でも参加できるようになっています。

はこの方法が採り入れられています。毎回の学習活動は二時間毎回、終了するころには会員全員に感想文の提出を求め、それをまとめながら話し合い、今後のための反省材料にするという意欲的な学習活動です。毎回「乳幼児学級だより」という機関紙も発行しています。

年間スケジュールは本年度の場合、第一回目は「乳幼児教育の重要性と問題点」をテーマにした講話でスタート、以後健康管理、生活習慣、絵本の選び方などのテーマで話し合いを進め

内容周知が必要

**内容周知が必要**  
乳幼児学級への参加者が少ないことの原因の一つに、こうした学習活動の内容が広く知られていません。

広報紙で照会する機会もなかつたのですが、何よりも「会員が会員を呼ぶ」ということがいちばん理想的かも知れません。主催側では、こうした点をよく検討し、場合によつては運営方法の見直しも考慮していかなくては

ています。七、八人の運営委員（代表）が計画策定から教材調達、司会などすべてを受け持ちます。社会教育の基本はあくまでも“自主学習”であることからこの方法が採り入れられてい

ました。途中、親子のふれあいを高めるレクリエーション体操おもちゃづくりなども行われました。もちろん室内だけではなく野外レクリエーションも楽しんでいます。

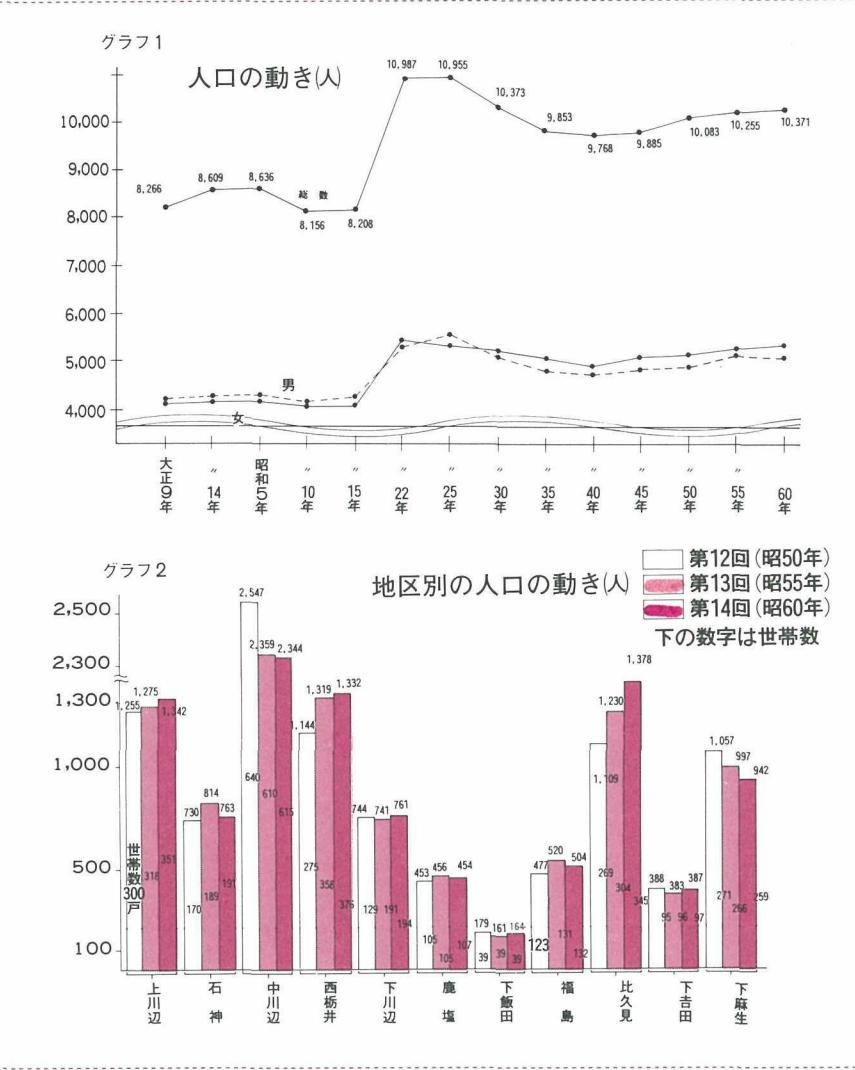
通常、参加希望者は毎年春に  
発行される「公民館講座・学級  
案内」で募集されます。今まで  
広報紙で照会する機会もなかつ  
ていないとことが挙げられます。

## 国調人口

## 20年前から安定増

## 比久見が毎回大幅な伸び

過去の国勢調査に基づいて人口の推移を調べると、本町の人口は約二十年前からわずかずつ増え続け、一応安定していることが分かりました。また、昨年十月の国勢調査の結果では比久見地区の人口が前回に比べて大きく増えました。



減少傾向は  
下麻生

一方、地区別に過去十年間動きを追ってみるとグラフ2のとおりになります。この十年間

総人口が増加に転じたのはこのころからで、工場誘致などの諸施策が功を奏して減少傾向に歯止めがかかったものとみられます。増加人口は毎回百人～二百人で急増とはいきませんが、安定した伸びということになります。

昭和四十年ごろまでは毎回減少傾向がみられました。

総人口が増加に転じたのはこのころからで、工場誘致などの諸施策が功を奏して減少傾向に歯止めがかかったものとみられます。増加人口は毎回百人～二

百人で急増とはいきませんが、安定した伸びということになります。

国勢調査は大正九年を第一回とし、五年に一度の割で行われてきました。途中、昭和十五年から同二十二年(第五回～六回)にかけては戦前戦後の混亂期とあつてその間隔が七年に開けましたが、七回目を行うときに調整され、以後五年おきに行われています。

これまでの国勢調査からみた

本町の人口の動きはグラフ1のとおりになります。昭和十五年から同二十二年にかけて大きく増えているのは、第一次ベビーブームの影響があると思われます。それ以後は過疎化が進み、昭和四十年ごろまでは毎回減少傾向がみられました。

総人口が増加に転じたのはこ

のころからで、工場誘致などの諸施策が功を奏して減少傾向に歯止めがかかったものとみられ

ます。一方、地区別に過去十年間動きを追ってみるとグラフ2の

とおりになります。この十年間

(第十二回～十四回)の人口の動きを追ってみるとグラフ2のとおりになります。この十年間

で人口が着実に増えているのが

比久見、上川辺両地区、逆に減

っているのが下麻生地区です。

比久見地区の人口増は特に目に立ち、この十年間で約三百七十人増え、世帯数でも七十六世帯増えています。同地区内のめざましい新築家屋の増などが原因になっています。上川辺も人口、世帯数ともに伸び、前回に対し三十三世帯、六十七人が増えました。ただし、同地区の場合は人口増に対して世帯増が多すぎることから、核家族化など世帯分離も多くあると考えられます。

中川辺地区は前回と同じく、人口がわずかに減りました。同地区の場合、世帯数が増えていくのに人口が減る、という現象がみられます。これは、若年層だけが町内あるいは町外へ転居していることにもなります。

毎回、人口が減っているのは下麻生地区で、前回に比べて十五人、前々回に対し百十五人減りました。世帯数もそれについて減り、前回に対し七世帯減っています。今回の調査で世帯数が減ったのは同地区だけです。他地区は安定的な傾向で推移しています。特に鹿塩、下飯田、下吉田地区などは人口、世帯数ともあまり変動していません。

(5)

## 広報かわべ

No.199

◎◎◎16日から所得税確定申告◎◎◎

## 申告は正しくお早めに

い人が申告しなかったり、間違  
確定申告をしなければならぬ  
申告をしたりしますと、後  
で不足の税金を納めるだけでな  
く、延滞税も納めなければなら  
ないことがあります。

六十年分の所得税の確定申告  
が二月十六日から始まります。  
申告の期限は三月十五日ですが、  
期限間近になりますと大変混雑  
し落ち着いて相談できなかつた  
りしますので、お早めに済ませ  
てください。

所得税の確定申告は、納税者が  
一年間の所得とその税額を自  
ら正しく計算して申告し、納税  
する、という自主的な申告納稅  
制度です。昨年一年間の所得と  
税額を正確に計算し、正しい申  
告と納税をしてください。

申告をしなければならない人  
の場合は次のような人たちです。  
①事業をしている人、不動産  
収入のある人、土地や建物を売  
った人などで昨年中の所得の合  
計額が基礎控除、配偶者控除、  
扶養控除など所得控除の合計額  
を超える人。

②サラリーマンで給与の年収  
が一千五百万円を超える人、二  
カ所以上から給与を受けている  
人、給与以外の所得が二十万円  
を超える人。

前年に確定申告をした人は税  
務署から申告用紙などが送られ  
てきますので、必ずその用紙で  
申告してください。今年、新た  
に申告する人は、税務署または  
役場に用意されている申告用紙  
をお使いください。

また、確定申告をする必要の  
ないサラリーマンでも雑損控除



期限間近になると混雑します

や医療費控除、住宅取得控除など  
の控除を受けられる場合は確定  
申告をすれば源泉徴収された  
所得税が還付されます。この還  
付を受けるための申告は二月十  
六日前でも受け付けています。

申告書を書くときは「所得税  
の確定申告の手引き」や「申告  
書の書きかた」を参考にしてく  
ださい。

## 町・県民税の相談所開設

相談日	相談場所	該当地区
2月25日(火)	西柄井神社社務所	西柄井
2月26日(水)	下川辺公民館	下川辺
2月27日(木)	上川辺コミュニティーセンター	上川辺地区 上石神
2月28日(金)	福島公民館	福島地区 下飯田
2月28日(金)	鹿塩公民館	鹿塩
3月6日(木)	比久見上公民館	比久見 下吉田下
3月7日(金)	下麻生公民館	下麻生 下吉田上
3月10日(月)	役場第1会議室	中川辺 下石神

▽申告をしなくてよい人  
①給与所得で源泉徴収される  
人②所得税の確定申告をする人。  
所得税の確定申告については  
関税務署(電0575-21-21  
2233)か役場税務課(電53  
-12511)、県民税、町民税に  
ついては役場税務課までお問い合わせください。

所得税の確定申告と同様、二  
月十六日から町民税・県民税の  
申告が始まります。申告期限は  
三月十五日。町では、所得金額  
の計算方法や申告書の書きかた  
などを正しく理解していただき  
ために、町内各所で次のとおり  
申告相談所を開設することにし  
ます。(時間はいずれも午前9時  
から午後3時まで)

この行事は昨年から始め  
られ、三年生以上の児童が  
学年ごとに講堂に入り、先  
生のお手本を見ながら書き  
ました。みんなが同じ場所  
で肩を並べて書くことがで  
き、一人当たりのスペース  
も十分なので、正月中に家  
で書くのとは少し違った感  
じ。「広いから書きやすい」と  
と楽しそうで、友達の書く  
のを横目でチラッと見なが  
らそれぞれ筆を運んでいま  
した。

この書き初めの作品は同  
講堂に掲示されました。賞  
などはなく、先生の寸評が  
付けられました。



## ミニ・ニュース

## 講習会初めで

が主催するオーストラリアへの  
体験航海「若人の船」が三月に  
行われますが、その際に現地で  
の交流会を担当することになる

クリス・シドッチさんが成人の日の一月十五日、川辺海洋センターを視察しました。

この日は、遠藤町長、青山県議、それにちょうど成人式を済ませ、今回の体験航海にも参加することになっている中川辺の平岩幸子さんら三人も振り袖姿でシドッヂさんを出迎えました。シドッヂさんは「山や川がきれいですばらしい所です。女性の着物は大変美しい」と感想を述べ、摂氏四十二度で真夏のシ

成績は次のとおり。  
〔敬称略〕

**実施に先立ち豪から視察**

3月に「若人の船



船庫を見学するC・シドッチさん(中央)

ズ州の青少年対策本部の行政官。約一千人の研修青年を受け入れてもらうためにまず日本を知つておいてもらおう、と同財団が招き、十三日に初来日しました。二日間は東京で日本船舶振興会など十数カ所の財団、会社などを訪問、続いて京都入り途中に川辺海洋センターに立ち寄り、体育館でのスポーツ活動の様子、艇庫などを見学しました。

ドニーでは見られない雪に大喜びでした。

水野さん総合優勝

新春围棋大会

ドニーでは見られない雪に大喜びでした。

試合はまず、松、竹、梅、桜の四つの組に分かれてリーグ戦を行い、その後、各組の勝者四人が対戦しました。その結果、総合優勝は水野純雄さん（中川

総合優勝は水野純雄さん（中川辺）、同一位は鈴村成寿さん（西柄井）、同三位は岩井鉄男さん（比久見）でした。

A black and white photograph showing a group of approximately eight people gathered around a large rectangular board game, possibly a complex strategy game like Go or a large-scale chess variant. The board is light-colored with dark spots indicating play areas. Several small pieces are scattered across the board. The players are dressed in casual attire, and the setting appears to be an indoor room with plain walls.

〔坪内昌彦五段〕  
〔竹組〕▽優勝  
勝＝鈴村成寿二段▽二位＝加藤茂二段  
二段▽三位＝松岡要二段  
〔梅組〕▽優勝＝小林勇雄初段▽二位＝渡辺民夫一級▽三位＝田原忠治初段  
〔桜組〕▽優勝＝岩井鍼男初段▽二位＝山口武重二級▽三位＝水野文夫四級

**岡本進さん** 次のみなさ  
んからこのほど、町中央公民  
館図書室へ図書が寄贈されま  
した。（敬称略）

昭和六十一年 度の町野球同好会理事長に就任されました。（上）

（比久見）▽副グラウンド管理委員長＝肥田克則  
木下宣良（下川辺）▽審判部長＝井戸喜美雄（西  
栃井）▽副審判部長＝平田正博（中川辺）▽会計＝山崎国  
雄▽理事＝水谷慎一（中川辺）▽監事＝澤誠三郎（比久見）  
井島豊治（下川辺）▽グラウ

竹内章さんら このほど開かれた町ソフトボール協会の総会で次のみなさんが六十二年役員に決まりました。(敬称略) ▽理事長＝竹内章(石神) ▽副理事長＝山田利夫(下飯田) 松島修治(上川辺) 高田

修三（中川辺）▽副審判長…  
監事＝村瀬忠俊（下麻生）▽  
大会運営委員長＝岩田嘉多  
(中川辺)▽運営委員＝白村  
正明（上川辺）加藤芳子（比  
久見）▽ナイター開放運営委  
員長＝加藤喜久男

(以上中川辺)、青山正吾(上  
川辺)、小林良夫(愛知県)

川辺) ▽運営委員長=井戸弘志(下麻生) ▽副運営委員長=山田卓也(福島) ▽ゲラウ

ンド管理委員＝田原治明、渡辺澄雄、古沢昭（以上中川辺頬頬重）（西筋井）

久美江（中川辺）▽会計・野  
中武人（石神）伊藤恵美子（上  
川刃）▽審判長・監事・成頼

## 元気です

有本幸恵ちゃん(1歳)=上川辺  
勝彦さん・恵子さん3女

足をふんばり頑張る参加者=海洋センター

## 第2回綱引き大会

## 500人が熱戦

ました。

参加したのは、

一般男子二十二、選

手八人の年齢の

合計が四百歳以

上の男子、女子

各三の計四十八

チーム。一般の

部では男女それ

ぞれ五つのプロ

ックに分かれて

リーグ戦を行い、

各ブロックの勝

者らがトーナメントで勝敗を決

めました。一試合三本引きで、

早く一本引いた方が勝ち、選手

はもちろん、応援者にも力が入

つて盛り上がりました。

成績は次のとおり

▽一般男子 ①KFDT②商

工會③福島クラブ ▽同女子

▽四百歳以上男子 ①町議会②

オールドキング③石神 ▽同女

子 ①比久見②ビーチジュン③

タンポポ

このマラソン大会の目的は、

体力の増進、精神力を養うこと

などでまず完走することが第一、

この日はやや寒かったのですが、

一人も脱落者がなくみんな元気

よくゴールインしました。

成績は次のとおり(三位まで

敬称略)

▽一年男子 ①道家克典②河

合裕③日比野峰之 ▽同女子 ①

加藤郁子②加藤典子③安藤文

枝 ▽二年男子 ①西垣憲②水

野匡府叙③平岡孝則 ▽同女子

枝

▽三年男子 ①西垣憲②水

野匡府叙③平岡孝則 ▽同女子

枝

▽四年男子 ①西垣憲②水

野匡府叙③平岡孝則 ▽同女子

枝

▽五年男子 ①西垣憲②水

野匡府叙③平岡孝則 ▽同女子

枝

▽六年男子 ①西垣憲②水

野匡府叙③平岡孝則 ▽同女子

枝

▽七年男子 ①西垣憲②水

野匡府叙③平岡孝則 ▽同女子

枝

▽八年男子 ①西垣憲②水

野匡府叙③平岡孝則 ▽同女子

枝

▽九年男子 ①西垣憲②水

野匡府叙③平岡孝則 ▽同女子

枝

自己ベスト  
めざし力走

## 川辺中マラソン大会

川辺中の校内マラソン大会が  
一月二十三日、中川辺地内の町  
道を利用して、男子三・二五キ  
女子二・二五キのコースで行わ  
れ、生徒たちは自己のベスト記  
録をめざして力走しました。

自己ベストめざし力走する生徒ら=中川辺

このお金は、同校が八つの学級にそれぞれ募金箱を置き、四カ月かかって集めたもので、日赤川辺町分區を通じて日赤県支  
部へ寄託されました。

このお金は、同校が八つの学級にそれぞれ募金箱を置き、四  
カ月かかって集めたもので、日  
赤川辺町分區を通じて日赤県支  
部へ寄託されました。

## 東小児童から義援金

▽①桑畑千代美②坪内さおり③  
加藤博子 ▽三年男子 ①加藤  
哲也②篠田道行③日下部友行  
▽同女子 ①加藤ひろ子②土谷  
早苗③佐伯明美

今月の  
料理

## 【材料(十個分)】 皮〔薄

力粉二百五十g ドライイ  
ースト大さじ三分の二、ぬるま

湯(約四十度)百二十五cc、

ベーキングパウダー大さじ三  
分の二、砂糖七十g、水三十  
cc〕あん(豚ミンチ千百二十五

## 【作り方】 ①ドライイース

トをぬるま湯に入れて溶かし、  
台の上の小麦粉に加えざつと

等分し、手の平でのばしてか  
らあんを乗せて包み、約十五  
分間休ませます④油をうすく  
ぬったむし器で十二分間強火  
でむします。

暖かいうちに食べるとおい  
しいですよ。





## くらしの豆知識



— No. 20 —

### 「フリージング」のくふう

小家族世帯が増え、好みも多様化して、多種類の食品を少量ずつ消費する傾向が強まっています。そのうえぜいたくになり同じものを繰り返して食べる人は好まれず、作り過ぎや買いつぱりなどは、下味をつけてフリージングすると多少は組織や味の変化を防ぐことができます。

★不向きなものも工夫次第で生の野菜でも、みじん切りのパセリや薬味用に切った不ぎ、木の芽などは冷凍にするとやしんなりしますが十分使えます。ショウガはそのまま冷凍してもあまり気にならないませんが、すりおろしてあらかじめ組織を破壊してから棒状にして冷凍し、必要なだけ折って使うと便利です。果物もバナナはアイスキンディーのようにになりますし、冷凍の卵黄は薄切りにして辛子しょうゆで食べると変わった味が楽しめます。

多い生野菜は組織の損傷がひどく解凍しても元に戻りません。タケノコやフキなど纖維の多いものは、筋っぽくなってしまいます。コンニャク、豆腐も元の状態には戻りませんが、凍り豆腐のように利用できます。生卵は卵黄がかくなり、ゆで卵は卵白がスポンジ状になってしまいます。生クリームもそのままでは分離しますが、七分程泡立てれば大丈夫。また生の肉や魚などは、下味をつけてフリージングすると多少は組織や味の変化を防ぐことができます。

AちゃんはBくんはいま、小学三年生です。生まれた時から隣り同士で育ちましたが、二人のお母さんの子育てはまったく反対です。

Bくんのお母さんは赤ちゃんの時から大事に、大事にと育て、ヨチヨチ歩きを始めたころはつきつきでした。これではケガなどするはずがないで歩けく、一度もころばないで歩けるようになりました。Bくんのお母さんはそれが得意でした。

AちゃんはケガらしいケガをしないのにBくんはちよつとしたことですぐケガをするからです。そのわけは分かりません。

これは、小さい時にころばなかつたのがいけないのであります。泣く子は育つ、とあります。AちゃんはケガをしないのにBくんはちよつとしたことですぐケガをするからです。そのわけは分かりません。

ここでころばせておかないと肉が落ちてからケガが多くなります。泣く子は育つ、と言いますが、ころぶ子も育つ。



古比滋山外

## ■わたしたちの作品

### 俳句

### 物語

### 中学生の心地

お正月いろいろ食べてふとる時

谷川佑三子

通知票見せないほうが親孝行

横谷里志

お年玉もらつてかくれて中を見る

長谷川裕二

エプロンをつけて全然手伝わづ

篠田伸子

お正月寝ているだけで金入る

桑畑靖紀

長電話なにをそんなに話すのか

田中正樹

客来ればいつもと違う母の声

村山美智子

つまみ食いすればおかげが減らされる

天池めぐみ

白菜をくくる平和の空無限  
屠蘇を汲む三代家族大蔥屋岡田原伸子  
真っ白な名刺交して年新た  
かざす掌に年輪見せて大焚火岡本文子  
初雪やひと日に増ゆる児の言葉岡本行雄  
神楽獅子の腹より少年生れたる馬場周一  
息深く吸いて降り立つ冬の航伊佐治英子  
三日過ぐ巫女の袴の裾よごれ田中文子  
顔に浴ぶ二駅ほどの冬落暉矢田元雄